

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

特別活動における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

特別活動における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 （中学校）

1 題材の概要

学 年：全学年

議 題：生徒会活動「1 人 1 台端末の活用ガイドラインを策定しよう」

目 標：生徒総会や各学級等において、1 人 1 台端末の活用の充実に向けた課題や提案等を踏まえたガイドラインの策定について考え、積極的に学校生活の充実を図ろうとする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・ 配付資料は 1 人 1 台端末に配信し、生徒会との質疑応答は各学級の大型モニターを活用するなど、活動のねらいに応じてICT端末を使い分けることにより、目標の達成に向けて効果的に取り組むことができます。
- ・ 学級のグループ内で話し合う際に、同時編集機能を活用することにより、他のグループの話し合いの状況を共有し把握することができます。

3 使用したソフトや機能

- ・ 表計算ソフト
- ・ プレゼンテーションソフト
- ・ ウェブ会議ソフト

【参考資料】

- ・ 学級・学校文化を創る特別活動
（中学校編）（教員向けパンフレット）
（国立教育政策研究所）



- ・ 学級・学校文化を創る特別活動
（中学校編）（教員向け指導資料）
（国立教育政策研究所）



特別活動における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 （中学校）

4 1 人 1 台端末の活用例

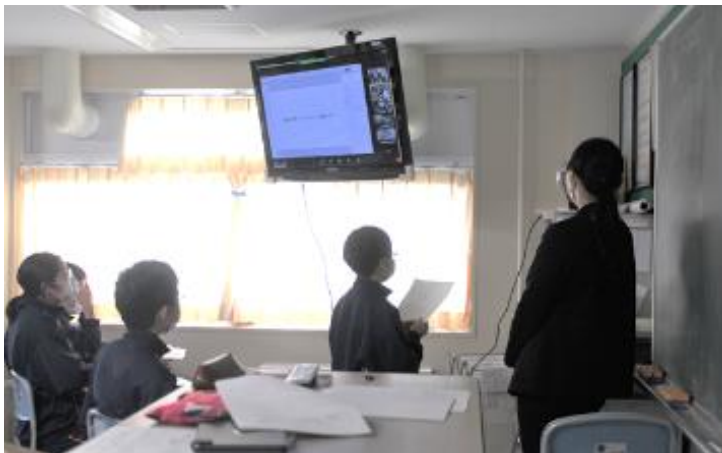
【ICTの活用場面①】



〔解決に向けての話合いの場面〕

- ・ 学級のグループ内で話し合う際に、同時編集機能の活用により、他のグループの話合いの状況を共有し把握できるようにするとともに、事前に本議題について話し合うことになった経緯等が分かる資料をプレゼンテーションソフトで作成し、生徒会から生徒一人一人の端末に配信することで、話合いが効果的に行われるようにします。
- ・ 学級で話し合ったことを、生徒会が事前に配信した全学級共通の集約シートに書き込んで提出することにより、生徒会で行う意見集約の作業を円滑に進めることができます。

【ICTの活用場面②】



〔解決方法の決定の場面〕

- ・ 各学級での話合いを基に作成した生徒会原案を生徒一人一人の端末に配信し、各自が説明内容を手元で確認できるようにするとともに、各学級の大型モニターを活用したウェブ会議を行い、生徒会と全学級で質疑応答を重ねながら、合意形成できるようにします。
- ・ 学級担任以外の教員もウェブ会議に参加することにより、状況に応じて、生徒会と全学級の質疑応答に意見を述べることもできるとともに、生徒会原案や各学級の集約シートを全教員で共有することができ、生徒会担当教員が資料を整理し直す必要がなくなるなど、業務の効率化を図ることができます。

特別活動における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○学級活動・生徒会活動の各学習過程に合った場面で適切に活用

1人1台端末を活用することで、生徒の意見を集約することが容易となりますが、十分に練り合い、折り合いをつけてから多数決につなげるなど、安易な多数決にならないように留意します。

①問題の把握、共有

1人1台端末で様々な生活場面を撮影したり、Webサイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見出す。

②意見の出し合い、比べ合い

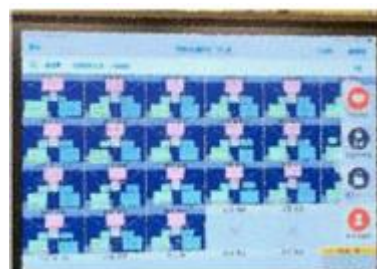
問題の把握、共有を経て、1人1台端末で個人の意見を表明し合うとともに、意見を比べ合い、整理する。

③合意形成、意思決定

話し合い活動を経て、1人1台端末を活用して解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。

④実践の記録や振り返り

1人1台端末で各自の実践を撮影、編集し、他者と共有したり、互いの記録を統合したりして、次の課題解決につなぐ。



【参考資料】

・GIGAスクール構想のもとでの中学校
特別活動の指導について(文部科学省)



・特別活動の指導における
ICTの活用について
(文部科学省)



・ICT活用授業モデル【Tips編】
中学校編(特別活動)
(北海道教育委員会)

